

令和6年度第4回 福知山市行政改革推進委員会

日 時：11月25日（月）

午後4時から

場 所：市民交流プラザ 会議室4－1

《 次 第 》

開会

1 議事

令和6年度 2次レビューの結果を踏まえた改善対応について

閉会

【配布資料】

令和6年度 2次レビューの結果を踏まえた改善対応について

令和6年度 2次レビューの結果を踏まえた改善対応について

1 更なる市民参画の促進

市民の傍聴者が少なかったことを踏まえ、次年度以降の2次レビューにおいては、広報ふくちやま、ホームページ、SNS発信、マスコミを通じた広報に加え、施策に関連する団体等への働きかけやチラシの配布等、レビュー実施にあたっての周知の強化を図る。

また、更なる市民参画の促進の手立てとして、令和7年度に設置を行う（仮称）2040年市民会議の委員にも、市民パートナーもしくは傍聴者としての参加を呼びかける。

2 施策の関連性を踏まえた効果的な議論の実施

今回の2次レビューにおいては、必ずしも施策の関連性を考慮したプログラムとはなっていなかったため、参加者にとって分かりにくく、また、繰り返しの説明が必要となる場面があった。議論を行う各施策においては、施策間の関連性を重視し、議論を行う施策の順序等を工夫することで、参加者に分かりやすく、また、それぞれの施策が関連した議論を行い、より効果的な推進ができるという考え方に重点を置いたプログラムの調整を図る。なお、議論の時間は、令和6年度に170分で実施し、一定議論を深めることができたこと、また、事前の準備などで更に効率的な運営を図ることとし、1コマ140分間とする。

また、レビューの進め方として、冒頭に事業の説明を行ってから施策の議論を行うことで、参加者の理解が進んだこと、コーディネーターが議論の要点をホワイトボードに書き出すことで、参加者の議論の整理につながったことから、次年度の実施においても採用する。

3 市民パートナーの事前説明の実施・発言機会の確保

市民パートナーの意見の時間を十分に確保するとともに、パートナーを対象とした事前の説明会においては、従来のレビューの目的、進行等の説明に加えて、対象施策の概要説明や論点、パートナーに期待するレビューでの役割等について十分な説明を行ったうえでご参加いただけるよう取り組む。

令和6年度 2次レビューの結果を踏まえた改善対応について

4 土日開催に係る職員の負担軽減

市民参加を考慮し、引き続き土日の開催を基本とするが、職員の負担軽減の方策として、事前の準備に関して、十分に論点整理を行い、当日の議論の論点を焦点化、明確にしたうえで、必要最低限の参加部署及び参加職員とする。

5 2次レビュー後の改善内容の総括と市民への広報（過去の対象施策も）

今年度の2次レビューの対象施策については、現在、レビューの議論を踏まえた改善対応の検討、予算化の準備など、改善の具現化を進めている。今後、過去のレビューで議論された施策について、指標の達成状況、2次レビューを受けての改善の内容やその効果などの総括を行う。

6 令和7年度の2次レビューのあり方について

現まちづくり構想ふくちやまの計画期間は令和8年度までであり、次年度以降の2年間で、新たな計画の策定に取り組むこととしている。

その策定にあたっては、65歳以上の高齢者人口がピークを迎え、社会経済環境が大きく変化すると見られている2040年における人口、インフラ、子育て・教育、医療・介護、衛生、消防・防災、経済等の状況を予測する「地域の未来予測」を作成し、起こり得る事象や想定される状況などの議論を行い、客観的な見通しを整理した上で、未来を見据え福知山市として、今後、どのような未来を目指し、何に取り組むべきかを議論し、それを新しいまちづくり構想に反映する「（仮称）2040年市民会議」を発足させ、議論を行うこととしている。

この市民会議では、各分野で活動されている方や無作為抽出による市民の選出（100名程度）を行い、未来予測を踏まえた様々な施策の方向性について、分科会を設置し議論いただくこととしており、2次レビューにおいても、関連する施策を議論する分科会メンバーへの参加に加え、広く参加を呼びかけ、議論に加わっていただく。

(仮称) 2040年市民会議・次期まちづくり構想の策定について (案)

1 地域の未来予測の作成及び庁内での議論 (～R7.3)

○素案の作成 (経営戦略課)

65歳以上の高齢者人口がピークを迎え、社会経済環境が大きく変化すると見られている2040年において、各種データを基に長期的推計が可能な分野(人口、施設・インフラ、子育て・教育、医療・介護、衛生、消防・防災、経済)において推計を行う。 ※別途、福知山市版未来カルテデータを活用 長期的・客観的な見通しのデータを提示することが困難な分野(観光等)は推計せず動向・推移を提示する。

○データに基づく議論 (データ利活用部会)

未来予測データに基づき、起こり得る事象や状況などの議論を行い、客観的な見通しを整理する。

2 「次期まちづくり構想 福知山」の策定 (R7～R8年度)

各種推計データを基に想定し得る地域の未来予測について、市民の皆さんと共有し、未来と一緒に考え、課題に対応するための方向性について議論を行い、一人ひとりが「幸せを生きる」まちの実現を目指す。

※会議での議論・提案等について「次期まちづくり構想 福知山」に反映

○内容

(仮称) 2040年市民会議の設置に向けた市民公募を実施。市民公募委員(多様な年代の市民の参画)、データ利活用部会の職員も参画する中で会議をR7年度5回程度実施。

- ・地域の未来予測データに基づき、分野ごとに課題を考え、どのような未来を目指すべきか議論を行い提案を受ける。
- ・現計画「まちづくり構想 福知山」で掲げる施策について、成果指標の達成状況等の共有。

○庁内検討 (R8年度)

- ・地域の未来予測に基づく検討結果(未来像、方向性、体系、取組内容、市民意見)を「次期まちづくり構想 福知山」の施策に反映。

※素案の作成

○有識者、関係団体、市民公募等により構成する審議会の開催 (R8年度5回程度)。 ※計画案の作成

○地域別説明会やパブリックコメントの実施。 ※意見聴取

○まちづくりの方向性を定める「次期まちづくり構想 福知山(計画期間R9～R13年度)」の策定。



施策レビュー（２次レビュー）当日の進行について

令和６年度

１施策あたり１７０分(休憩２０分含む)で議論を深め、参画者の意見をとりまとめる。

１ 概要説明	
５分	事務局(経営戦略課) 施策レビューの概要について説明。
２ 政策目標の実現に向けた課題及び課題解決に向けた取組状況について説明	
１０分	施策担当部署 政策目標の実現に向けて掲げる施策について、施策体系シートに沿って課題認識、課題解決に向けた取組の方向性や取組状況について説明。
３ 質疑応答及び議論	
４０分	施策改善推進委員 政策目標の実現に向けての課題認識や取組の方向性について質問を行う。 質疑を通して政策目標の実現に向けてどうすべきかについて議論を深める。
１０分	休憩
４ 課題解決に向けて取り組む事業の説明、質疑応答及び議論	
７５分 休憩１０分含む	施策担当部署 課題解決に向けて取り組む事業(重点事業)について、事務事業評価シート等により、課題認識、課題解決に向けた方向性や取組状況などについて説明。 施策改善推進員 質問や確認を行いながら、政策目標の実現に向けてどうすべきかについて議論を深める。
５ 疑問点の確認	
１０分	施策改善市民パートナー ここまでの説明や議論の中で感じた疑問点について確認を行う。 施策担当部署 説明により疑問点を解消。
６ 施策改善推進委員の意見(意見・提案)	
１５分	施策改善推進委員及び施策改善市民パートナー 政策目標の実現に向け「①課題が明確になっているか」、「②取組の方向性は合っているか」、「③課題解決に向けて取り組む事業として貢献できているか」の３点から施策の有効性や意見について改善シートに記載。 コーディネーター 施策改善推進委員及び施策改善市民パートナーからの改善意見とりまとめ。
７ 意見とりまとめ結果発表・まとめ	
５分	コーディネーター 意見とりまとめ結果を発表。

令和７年度(案)

１施策あたり１４０分(休憩１０分含む)で議論を深め、参画者の意見をとりまとめる。

１ 概要説明	
５分	事務局(経営戦略課) 施策レビューの目的、施策及び成果指標の概要説明。
２ 政策目標の実現に向けた課題及び課題解決に向けて取り組む事業等の説明	
２０分	施策担当部署 課題解決に向けて取り組む事業(重点事業)について、施策体系シート等により、課題認識、課題解決に向けた方向性や取組状況などについて説明し、政策目標の実現に向けて、掲げる施策についてどのように取り組みを進めているかを説明。
３ 質疑応答及び議論	
６０分	コーディネーター・施策改善推進委員 政策目標の実現に向けて、課題認識や取組の方向性について、質問や確認を行いながら、政策目標の実現に向けてどうすべきかについて議論を深める。
１０分	休憩
４ 疑問点解消・意見の発表	
２０分	施策改善市民パートナー 説明や議論を聞く中で感じた疑問点や意見を発表。 施策担当部署 疑問点の解消、意見に対して回答。
５ 施策改善推進委員の意見・提案(施策改善市民パートナー改善シート記入)	
１５分	施策改善推進委員 政策目標の実現に向け「①課題が明確になっているか」、「②取組の方向性は合っているか」、「③課題解決に向けて取り組む事業として貢献できているか」の３点から施策の有効性や意見、提案について発表。 施策改善市民パートナー 政策目標の実現に向け「①課題が明確になっているか」、「②取組の方向性は合っているか」、「③課題解決に向けて取り組む事業として貢献できているか」の３点から施策の有効性や意見、提案について改善シートの記載。
６ 意見とりまとめ結果発表・まとめ	
１０分	コーディネーター 施策改善推進委員、施策改善市民パートナーからの意見をとりまとめ結果発表。
■アンケート記入	
１０分	施策改善市民パートナー、傍聴者 参加して感じた感想等をアンケートに記入。